SuMPO EPD JAPAN VERIFIED

SuMPO環境ラベルプログラム (SuMPO EPD)

Third party verified

Environmental Product Declaration

In conformance with

ISO14025 | ISO14040 | ISO14044

EPSON

セイコーエプソン株式会社

SEIKO EPSON CORPORATION

WorkForce Enterprise WF-C20750

高速ラインインクジェット複合機

(for North America)



登録番号	検証合格日	公開日	検証有効期間	EPDタイプ
SuMPO-EPD-2610-288-1	2026/10/23	2020/05/22	2031/10/22	単一製品EPD

※更新された場合は初版公開日

追加の準拠規格

ISO14067:2018

EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。
EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。
https://ecoleaf-label.jp/epd/search

●基本情報

＞プログラム情報

プログラム名称	SuMPO環境ラベルプログラム
プログラムオペレーター	一般社団法人サステナブル経営推進機構
所在地	東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE 4F
ウェブサイト	https://ecoleaf-label.jp

＞GPI・PCR情報

GPI	SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.1.1
PCR名称	画像入出力機器
PCR登録番号	SuMPO-PCR-02001-9-0-0
PCR認定日	2025/10/17
レビューパネル委員長（所属）	山岸 健（株式会社LCAエキスパートセンター）
PCR有効期限	2030/10/16
PCR発行者	一般社団法人サステナブル経営推進機構

＞検証情報

検証の種類	ISO14025に従った第三者検証		
	□ 内部	■ 外部	
	□ 検証員による第三者検証	□ 検証機関による第三者検証	■ EPDシステム認証による第三者検証
検証実施者（所属）	一般財団法人日本品質保証機構 錦見 志野		

＞準拠規格

準拠規格	■ ISO14040:2006	■ ISO14044:2006	■ ISO14067:2018
	■ ISO14025:2006	□ ISO21930:2007	□ ISO21930:2017
	□ EN15804+A2	□ EN50693:2019	□ ISO/IEC63366:2025

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。

EPDの比較は、製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならないため、製品のライフサイクル全体を考慮し、同等の用途を想定したシナリオを適用している必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。
EPDの比較可能性は、機能単位を適用しているものに限定されます。

環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。
加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

●EPD取得事業者情報

事業者名・部署名（日・英）	セイコーエプソン株式会社・Ｐオフィス・ホーム事業管理部
住所	長野県塩尻市広丘原新田80
問い合わせ先	http://www.epson.jp/contact
LCA算定実施者（所属）	筒井 麻子（セイコーエプソン株式会社）
事業者概要	創立 1942年5月18日（昭和17年） 資本金 532億400万円 事業内容：商業・産業用およびオフィス・ホーム向けプリンターを中核に、プロジェクター、水晶・半導体デバイス、産業用ロボット、ウオッチなどの事業を展開する精密機器メーカーです。

●製品情報

製品名称（日・英）		WorkForce Enterprise WF-C20750		
製品の型式		WF-C20750		
製品仕様	製品質量	184kg（消耗品含む）	換算係数	-
	製品機能	マルチファンクションプリンター		
	製品の用途	ビジネス用プリンター		
	技術性能	複合機（高性能IJ方式）		
耐用年数	年数	5年		
	使用条件	[32枚×87ジョブ/日×5日]/4×4週×12カ月×5年=835,200枚		
	年数を設定した根拠	画像入出力機器 v9.0.0のプリンタおよび複合機（IJ方式）のシナリオ		
製造サイト（製造拠点）		インドネシア工場および、国内工場		
製品概要		主要仕様 ■負荷算定に用いるシナリオにおいて選択した製品 複合機（高性能IJ方式） ■カラー ■印刷速度：75ppm(A4横片面) ■最大用紙サイズ(標準カセット)：A3 ■自動両面印刷機能 ■製品の仕向け先：北米 ・画像出力媒体(印刷用紙)の負荷は計上していません ・国際エネルギースタープログラムVer.3.0 の試験方法に沿っています。 ※本情報は、EPDに関わる主な情報を記載しており、商品選定の場合にはWebサイトなどを確認してください		
製品ウェブサイト		https://www.epson.jp/		

●材料及び物質に関する構成要素

製品構成要素	割合 (%)	質量	
普通鋼	53.1	97.68	kg
SUS（ステンレス）	1.5	2.78	kg
アルミニウム	1.5	2.83	kg
その他金属	6.3	11.53	kg
プラスチック	27.5	50.58	kg
ゴム	0.5	0.99	kg
ガラス	0.8	1.42	kg
紙・木	0.0	0.05	kg
実装回路基板	3.3	6.09	kg
その他	5.4	9.97	kg
包装材構成要素	割合 (%)	質量	
プラスチック	22.3	2.70	kg
紙・木	77.7	9.39	kg

※記載している質量は各部品の質量から積上げており、質量には推計値（例：体積や調達金額からの換算等）を含むため、構成要素質量の合計は、製品情報に掲載する製品質量とは一致しない場合がある

●生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO_2 eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	0.00	0.00
提供先にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	12.66	3.45

●LCA 関連情報

＞EPDタイプ情報

EPDタイプ	製品タイプ	■ 単一製品	□ グループ製品	□ 業界製品	
	サイトタイプ	■ 特定サイト	□ 複数サイト		
	開示方法	■ 特定値	□ 加重平均値	□ 代表値	□ 上限値
地理的範囲		北米			

＞LCA情報

宣言単位		製品1台あたり		
システム境界		□ Cradle-to Gate	□ Cradle-to-Gate with options	■ Cradle-to-Grave
LCAソフトウェア		クラウド版MiLCA　version: 1.2.1.14		
LCIデータベース		IDEA3.5.1		
特性化モデル		気候変動：IPCC第6次評価報告書(IPCC,2021年)、その他の影響領域：LIME2		
二次データ品質		GPIに規定の二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。		
一次データ収集拠点		インクカートリッジ及びプリントヘッドの生産工場、製品本体の組み立て工場		
一次データ収集期間		2024/4～2025/3		
生物由来炭素の取り扱い		□ 0/0アプローチ	■ -1/+1アプローチ	
電力証書の取り扱い	使用有無	■ 国や地域の平均的な電力ミックス	□ その他	

＞算定対象段階

原材料調達	製造	流通	使用・維持	最終(EoL)
■	■	■	■	■

■ ：算定対象　－ ：算定対象外

＞アロケーション

・本算定では、GPIに記載された手順に従い、プロセスの細分化によるアロケーション回避の可能性を検討した。回避が困難な場合は、物理的因果関係に基づきアロケーションを実施した。

＞カットオフ

・部品、素材、包装材および付属品の輸送プロセスに係る負荷
・製品の保管に係る負荷
・原材料調達段階、生産段階における「廃棄物」の適正処理に係る負荷
PCR基準4.5.1のカットオフ基準5％、SubPCR（画像入出力機器9版 以下、SubPCRと記載）を適用

＞システム境界

・PCR基準に基づき、必須算定対象である、原材料調達段階、製造段階、流通段階（流通）、使用・維持段階、最終段階(最終処理)を対象とした。
・GPIおよびPCRにて境界外プロセスと定められた項目は算定対象にしていない
・対象のシステム境界で考慮される期間は一次データ収集年から100年とした。（IPCCのGWP100に整合した影響評価係数を使用）

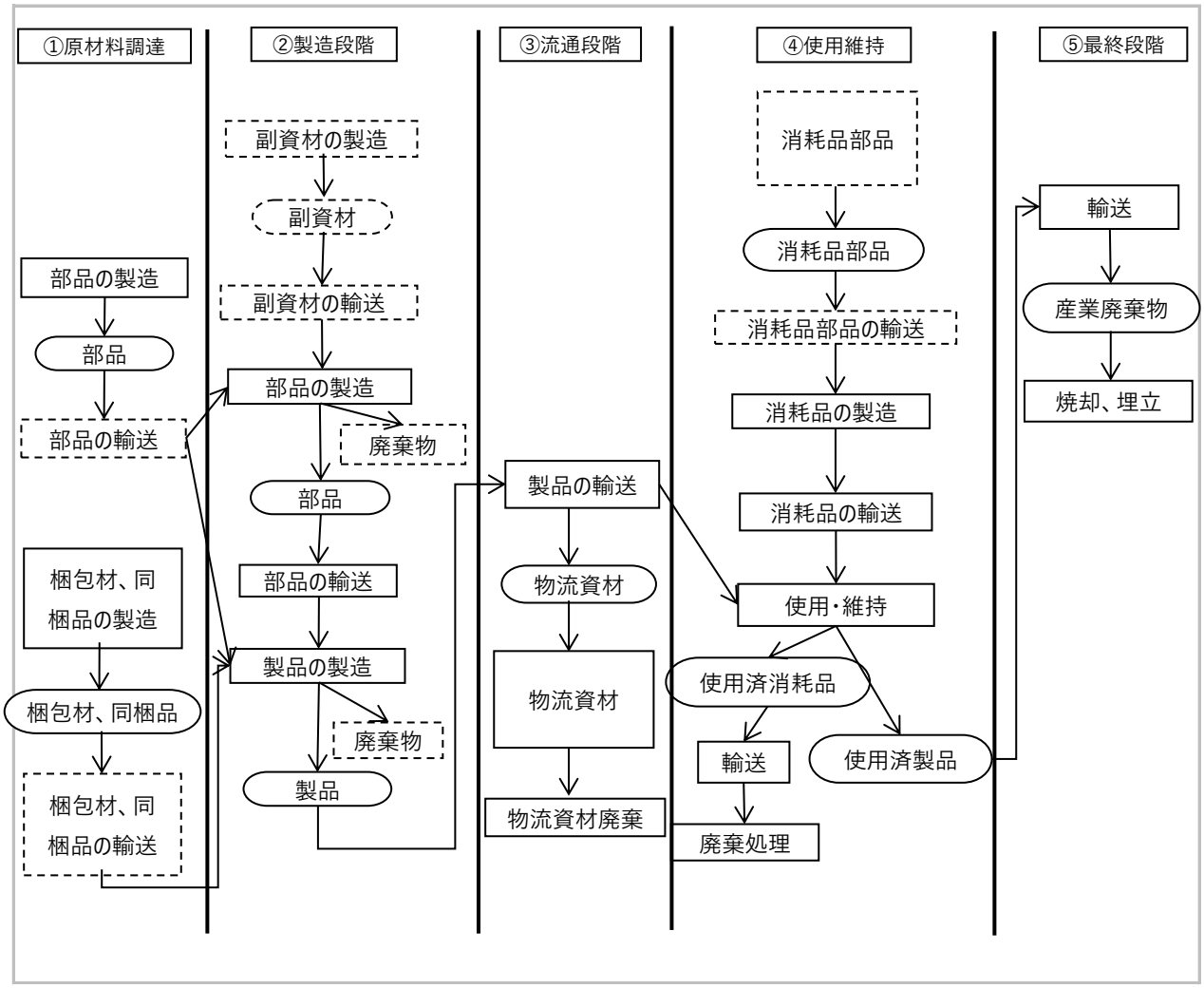
＞シナリオ

■本体及び消耗品の輸送に関しては以下の通り
・積載率：Sub PCRシナリオを使用
・輸送手段、輸送距離：製造現法から仕向先の販売会社倉庫までは一次データを使用し、販売会社倉庫からお客様までの輸送距離と輸送手段はシナリオを用いて計算
■本体及び消耗品の廃棄輸送に関しては以下の通り
・積載率、輸送手段：Sub PCRシナリオを使用
・廃棄の輸送距離は100kmで計算

＞電力モデリング

製造/使用においては対象地域の最新の電力原単位を用いて算定した

＞ライフサイクルフロー図



●算定結果

＞ライフサイクル影響評価結果

		原料調達段階	製造段階	流通段階	使用・維持段階	最終段階
気候変動 - 合計	kg-CO_2eq	9.38E+02	1.99E+02	1.06E+02	3.02E+02	1.25E+02
気候変動 - 化石由来	kg-CO_2eq	9.49E+02	1.99E+02	1.04E+02	2.97E+02	8.68E+01
気候変動 - 生物由来	kg-CO_2eq	-1.20E+01	7.53E-02	2.24E-01	2.33E+00	3.76E+01
気候変動 - 土地利用及び改変	kg-CO_2eq	1.36E+00	1.04E-01	1.88E+00	2.85E+00	4.19E-02
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	2.77E-05	5.96E-07	6.91E-08	6.04E-06	8.07E-08
富栄養化	kg-PO_4^{3}-eq	1.05E-01	7.48E-05	2.49E-04	6.60E-01	1.07E-04
酸性化	kg-SO_2eq	1.01E+00	3.16E-01	1.37E-01	4.39E-01	1.51E-01
光化学オキシダント生成	kg-C_2H_4eq	2.06E-02	1.70E-03	2.63E-03	7.05E-03	4.91E-04
追加オプションのライフサイクル影響指標						
非生物資源枯渇 - 鉱物	kg-Sbeq	5.01E-01	4.79E-04	1.00E-04	7.13E-02	4.58E-05
気候変動 - 航空機輸送	kg-CO_2eq	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00

＞ライフサイクルインベントリ分析関連情報

		原料調達段階	製造段階	流通段階	使用・維持段階	最終段階
再生可能一次資源 - エネルギー（RPR_E）	MJ	3.94E+03	9.83E+02	1.79E+02	1.30E+03	8.83E+01
再生可能一次資源 - エネルギー含有材料（RPR_M）	MJ	2.39E+01	1.11E-01	2.28E+02	2.82E+01	2.09E-02
非再生可能一次資源 - エネルギー（$NRPR_E$）	MJ	1.62E+04	3.42E+03	1.30E+03	5.84E+03	4.40E+02
非再生可能一次資源 - エネルギー含有材料（$NRPR_M$）	MJ	2.89E+03	5.03E+00	1.58E+01	1.32E+03	6.22E-01

＞ライフサイクルインベントリ分析関連情報―二次資源の使用に関する指標

		原料調達段階	製造段階	流通段階	使用・維持段階	最終段階
二次材料	kg	3.41E+01	1.29E-01	1.06E+00	1.70E+01	1.35E-02
再生可能二次燃料	MJ	5.00E+00	8.82E-02	3.31E-01	4.96E+00	8.45E-02
非再生可能二次燃料	MJ	9.16E+00	3.77E-02	4.99E-01	6.30E+00	7.14E-01
回収エネルギー	MJ	6.26E+01	1.21E+01	3.19E+00	1.12E+01	1.57E+00

＞ライフサイクルインベントリ分析関連情報―非生物資源-化石燃料、淡水の消費量

		原料調達段階	製造段階	流通段階	使用・維持段階	最終段階
非生物資源枯渇 - 化石燃料	MJ	1.56E+04	2.89E+03	1.28E+03	4.82E+03	3.70E+02
淡水の消費	m^3	1.53E+01	1.53E-01	2.73E+01	1.54E+01	1.75E-01

＞廃棄物関連情報

		原料調達段階	製造段階	流通段階	使用・維持段階	最終段階
有害廃棄物	kg	1.68E-03	1.60E-05	3.37E-06	5.03E-03	1.20E-06
無害廃棄物	kg	5.23E+01	7.78E-01	3.28E-01	3.47E+00	1.18E+02
高レベル放射性廃棄物	m^3	9.34E-09	1.64E-09	4.30E-10	5.02E-09	2.12E-10
中および低レベル放射性廃棄物	m^3	9.51E-06	1.67E-06	4.38E-07	5.11E-06	2.16E-07

＞LCA算定結果に関する説明

・製品の仕向け先：北米
・使用段階の算定方法（シナリオ）※
- 1か月の稼動日数：20日/月
- 1年の稼働日数：240日
- 想定使用期間：5年
- 総印刷枚数：835,200枚/5年

※使用段階の負荷算定については、ユーザーの実使用条件に合わせた上記の条件でシナリオを設定した。使用・維持管理段階で必要となる用紙は、負荷計上の対象には含めない。
・気候変動・合計のライフルサイクル合計値：1,670 kg-CO2eq

●追加環境情報

＞LCAに関連しない追加環境情報

●本製品の組立生産と主要部品の生産は、ISO14001認証取得工場で行われています。
●国際エネルギースタープログラムVer.3.0の規格を満足しています。
●欧州RoHS指令に適合しています。
●各ステージにおいて発生した有害廃棄物については、廃棄物関連法令に基づき適切に処理を行っています。

●参考文献

・ISO14025:2006 Environmental labels and declarations — Type III environmental declarations — Principles and procedures
・ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
・ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines
・ISO14067:2018 Greenhouse gases — Carbon footprint of products — Requirements and guidelines for quantification"

●改訂履歴

2026年10月14日：製造負荷の定期見直し、及び新Sub-PCR基準（画像入出力機器 v.9.0.0）にて再計算を実施